

令和4年度第2回三条市教育事務点検評価委員会会議録

- 1 開会宣言 令和4年8月5日（金） 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201 会議室
- 3 出席者 雲尾委員長、星野委員、目黒委員
- 4 説明のための出席者  
栗林教育部長、野水教育総務課長、平岡子育て支援課長、熊倉学校教育課長、  
星教育センター長、坂井教育総務課課長補佐、佐藤教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 なし
- 6 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 議事
    - ア 令和4年度教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）について
  - (3) その他
  - (4) 閉会
- 7 会議の経過及び結果
  - (2) 議事
    - ア 令和4年度教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）について
      - (ア) 令和3年度教育に関する事務の事後評価（委員の意見に対する修正シート）
        - ・学校教育課所管分について、熊倉学校教育課長、星教育センター長が説明（雲尾委員長）
          - 1—（1）、1、2ページにつきまして改変が両ページにわたっています。この部分あるいはほかの部分につきましていかがでしょうか。これでよろしいでしょうか。
          - 1—（2）、3、4ページの部分につきましていかがでしょうか。  
文部科学省の説明文書では「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」となっていますので、「制度」はついていないのは確かですね。そういうことでいいと思います。
          - 1—（3）、5、6ページの部分についてはいかがでしょうか。  
6ページの第二指標で「昨年度」を「前年度」に直してもらいましたが、ほかのところにも「昨年度」という表現が残っているので、直してほしいと思いました。例えば水害の年の昨年度とは言わないわけですね。この報告書を書いたときは基点かもしれないですが、報告書は令和4年度にできておりますので、表現としては「前年度」とか「令和2年度」とかいったような形で記述していただきたいという趣旨です。よろしいですか。
          - 1—（4）について、8ページの部分はいかがでしょうか。よろしいですか。

1—（5）、9、10 ページの部分です。総合評価のところですが、よろしいですか。

1—（6）、11、12 ページの部分についていかがでしょうか。

直していただいた部分もあるんですが、報告書を見ていて気にかかるのは、12 ページの第一指標のところ、説明があるものとなないものがあるって、肯定的評価が毎年 95%以上になるといった場合の各学校担当教職員の評価で、具体的にはどういう設問にどう答えているかが分からないですね。子どもがつくる弁当の日のどういう評価項目が 95%以上になるという文言を入れていただきたいと思います。報告書でいうと 10 ページです。総合評価のところでもそう書いてありますね。修正シートでいうと 11 ページの総合評価の 4 行目、各学校担当教職員の肯定的評価は 99.3%と非常に高いとありますが、ここの文章ではちょっと分からないところがありますので、加えていただきたいと思います。

そのほかはよろしいでしょうか。

13、14 ページです。2—（1）について、いかがでしょうか。

先ほどと同じように、授業中に ICT を活用して指導する能力の肯定的評価が 70.0%以上というものについて、何をもちて誰がどう考えるか。例えば、教職員自身が思うのではなくて、生徒たちがよく分かるといった指標があったほうがいい。取っていないものは仕方がないですけど、そういう意味で、誰が何をどう評価したかというものが正確に分かるほうが指標として明確になるので、ここを加えていただきたいと思います。

(熊倉学校教育課長)

文部科学省で質問項目が決まっているのがあります。

(雲尾委員長)

それを出していただきたい。

2—（1）についていかがでしょうか。よろしいですか。

2—（2）、15、16 ページの部分はいかがでしょうか。よろしいですか。

2—（3）、17、18 ページの部分はいかがでしょうか。よろしいですか。

2—（4）、19、20 ページの部分はいかがでしょうか。よろしいですか。

---

・子育て支援課の所管分について、平岡子育て支援課長が説明

(雲尾委員長)

3—（1）、21、22 ページの部分について、いかがでしょうか。

21 ページの総合評価の部分で新しく加えていただいた二重丸説明の中で、ちょっと分からないのが、3 行目の終わりです。「絵本の効果的な活用に関する研修会や」まではいいんですけど、「食育の指導と講座開催など、保育を全体として着実に充実させてきた」とあるわけで、指導と講座開催といった場合、誰が誰に食育の指導をして、食育の講座を開

催するのちちょっと分かりにくいです。指導は要るんでしょうか、要らないんでしょうか。  
(平岡子育て支援課長)

通常の保育において管理栄養士、栄養士が出向いて食育の指導を行っていることを捉えて、こういう記載をさせていただいてございます。

(雲尾委員長)

管理栄養士が園に出向いて、子供たちに食育の指導をするということですか。

(平岡子育て支援課長)

保育士の先生方に対してもです。

(雲尾委員長)

先生方に講座を開催するということの併せた表現ですか。

(平岡子育て支援課長)

はい。今御指摘いただきました誰が誰にということで、少し言葉が足りなかったと捉えておりますので、そこは修正いたします。

(雲尾委員長)

分かりました。

3－(1) はよろしいでしょうか。

3－(2) 、23、24 ページについて、いかがでしょうか。よろしいですか。

3－(3) 、25、26 ページについてはいかがでしょうか。よろしいですか。

---

・教育総務課の所管分について、野水教育総務課長が説明

(雲尾委員長)

4－(1) についていかがでしょうか。

今の第一指標の説明の数字のようですが、令和元年度の当該年度目標達成率は0.0%じゃなくて、ここはハイフンになると思います。令和2年度が300%実績値なのに300.0割る0.0でハイフンにしています。令和元年度もゼロ割るゼロなので、ハイフンにするしかないということです。来年は目標達成率が下がってしまうんですけど、800%自体が異常ですので、仕方がないです。令和4年度は400%となっても数字上は仕方がないことなので、そうするしかないと思います。

ほかはよろしいでしょうか。

---

(イ) 令和4年度教育に関する事務の点検及び評価報告書(案)

・学校教育課所管分について、熊倉学校教育課長、星教育センター長が説明

(雲尾委員長)

学校教育課所管分なのですが、その前に1ページの(2)のアの2行目、「令和2年度の取組状況」は「令和3年度」に修正してください。

(野水教育総務課長)

わかりました。

(雲尾委員長)

1、2ページについてはよろしいですか。

3ページの部分、1—(1)「学校運営改善システムの構築」についていかがでしょうか。よろしいでしょうか。

1—(2)「開かれた学校づくり」、4、5ページの部分は、いかがでしょうか。

5ページの今後の方針の2行目に、言葉として学園・学校運営協議会というのが出てきます。4ページにコミュニティ・スクールの注の説明があつて、そこで「学校運営協議会」が置かれている学校を指す」とあるが、学校運営協議会は何だという説明がない。学園・学校運営協議会というと、知らない人を見ると、大崎学園はそういう呼び方なのかなと思うけれど、大崎学園学校運営協議会は大崎学園の学校運営協議会なんですね。でも例えば、嵐南小に学校運営協議会があつて、第一中に学校運営協議会があつて、それをまとめたのが学園運営協議会なので、逆に言うと大崎学園には学園運営協議会はないという構造ですよ。学校教育関係者以外には理解できないだろうと思うんです。だから、3の注のところに学校運営協議会の説明がされていて、三条市ではそれに加えて学園全体をまとめた学園運営協議会を置いているといった説明がないと困ると思います。さらに言うならば、大崎学園は単独の学校なので学園運営協議会はなく、学校運営協議会があるという説明があると一番丁寧だと思います。少なくとも学校運営協議会はこのものだという文部科学省のパンフレットに載っている説明をして、三条市では学校運営協議会を学園単位で統合したというか、独自に学園単位で話し合うための学園運営協議会を置いているということを注で説明すればいいと思います。

(星教育センター長)

わかりました。

(雲尾委員長)

1—(2)はよろしいでしょうか。

1—(3)「教職員の資質や指導の向上」について、星野委員、お願いします。

(星野委員)

5ページ、主な構成事務事業のところ、修正シートでは第一指標、第二指標ということで事務事業が挙げられています。昨年度の報告書には主な構成事務事業は2点書かれておりました。これは目的がどちらも教職員の資質、指導力の向上を図るということで同じ

部分なので、1つにされたのかと思うんですが、第二指標のほうの内容の授業力向上実践研修、また学校訪問に関わることについては、令和3年度における評価の中に触れられているので、この主な構成事務事業のところにあってもよいのかなと思います。1点に絞った理由を教えてください。

(星教育センター長)

確かに学校訪問とか、それによる教職員資質、指導力の向上の文言は昨年度もありました。単純に「教職員研修を開催する」としたのは、今までずっとやってきたことだったので、取りあえずこの2行に集約しました。ただ、実際にオーダーメイド訪問を通じて学校訪問していることを考えますと、それを加えたほうが事業としてはっきり伝えられると思いますが、いかがでしょうか。

(雲尾委員長)

では、そうしてください。

そのほか、1―(3)はよろしいでしょうか。

1―(4)「確かな学力の育成」についての部分はいかがでしょう。

(星野委員)

7ページの令和3年度における評価のところを見ますと、ウェブ上で見る人はシートとかではなく、報告書だけを見ていることもあると思うんです。例えば7ページのNRTの結果などを踏まえたときに、小学校及び義務教育学校前期課程あるいはその下の中学校云々のところだけの文言だと、三条市は小学校全体がそうなのか、中学校全体がそうなのかと勘違いするのではないかと危惧します。シートを見れば評価の対象学年書いてあるので分かるんですが、そこまで見ない方もいることを考えると、7ページのところに括弧して対象学年の説明があってもよいと思いました。

(星教育センター長)

確かに報告書を見る方が多く、シートまでたどり着く方は少ないかと思います。小学校及び前期課程は6年生が対象であること、中学校及び後期課程は3年生が対象であることを明記したいと思います。

(雲尾委員長)

1―(4)はよろしいですか。

1―(5)「豊かな心を育む心の教育と体験活動の充実」についてはいかがでしょうか。

(星野委員)

8ページの令和3年度における評価あるいは今後の方針に関わりますが、修正シートへの意見でもちょっと触れたんですが、7月末にも全県の会議でいじめのことが話題になっていたかと思います。新聞にも代表者会議のことが出ていたように記憶しておるんです

が、3年度における総合評価に、「いじめ認知件数は減少したが、減ることが成果とは短絡的に言えない」とあるのはそうだと思うし、今後の方針でもその辺を踏まえた記述になっていると思います。私の希望としては、見えにくいいじめが行われていることを教育委員会はちゃんと受け止めていると伝わると思います。「認知件数は減少」のところ、あるいは今後の方針のところ、見えにくいいじめとか、ネットいじめとか、感染症差別はちょっと違うかもしれませんが、そういうところも触れてほしいです。

(熊倉学校教育課長)

学校のいじめを認知する力を強化していくという部分に、見えにくいいじめについても見逃さないようにという意味合いが、ニュアンスが出るように考えてみたいと思います。

(雲尾委員長)

今のすぐ上の2行、ソーシャルスキルの部分ですが、事後評価シートだと第一指標、第二指標が一緒に載っています。第一指標で目標値が53.0、実績値が55.3、第二指標で53.0と52.5だから、平均したら53.0を超えることが読めば分かるのですが、報告書では第一指標、第二指標が載っていないので、ここだけ読んでもどれくらい上回ったのかが分からない。ソーシャルスキルの数値はこの数値で、全国平均を上回り、目標値を上回っているか、53.0を少し超えたのか、かなり超えているのかという、そのところを書いてほしいです。

(熊倉学校教育課長)

第一指標、第二指標が幾つということでも明確に分かるようにということです。

(雲尾委員長)

それぞれでもいいですし、「全国平均を上回り」と言っているわけですので、全国平均の50.0、目標値の53.0を上回った数値が明確に分かるようにしてほしいです。

ほかに1—(5)はよろしいですか。

1—(6)「健やかな体を育む健康教育・体力向上の取組の推進」についてはいかがでしょうか。

2—(1)「ICT、グローバル化に対応した教育の推進」についてはいかがでしょうか。よろしいですか。

2—(2)「市民性を高める教育の推進」についてはいかがでしょうか。

(星野委員)

2点お願いいたします。

13ページの今後の方針のところ、1点目は、先ほど雲尾委員長がお話しされたことに関わるんですが、今後の方針の下から3行目のところに学園運営協議会という文言があります。5ページに学園・学校運営協議会という文言があったので、学園運営協議会はその

のことを指していると思う反面、学校運営協議会の報告はないのかと、ちょっと関心のある人は読み取ってしまうと思います。そのところを5ページと合わせて学園・学校運営協議会とするとよいのかなと思ったのですが、検討してほしいです。

2点目は、今後の方針の4行目のところです。「開設する『三条市立科学教育センター』」とあるんですが、ここはちょっとPRも込めてというか、科学教育センターがどこにあるか分からない人も結構いると思うので、「図書館等複合施設『まちやま』内に開設」という文言が加わるとよいと思いました。

(星教育センター長)

1点目、学園・学校運営協議会という表現について、担当の考えも確認しまして、適切な表現にしたいと思います。

2点目は、三条市立科学教育センターは7月24日に開設いたしましたので、「開設した」とし、「図書館等複合施設まちやま」等の記述を「科学教育センター」の前に加えることで考えたいと思います。

(雲尾委員長)

私も何か意味が通らないなと思って考えていたんですけど、ここは新しく開設するという意味だったんですね。科学教育推進事業を担当するという意味で考えていました。文章を作っているときはまだオープンしていなかったけど、日にちがたったのでということですね。

2—(2) はほかによろしいでしょうか。

2—(3) 「社会で自立するための特別支援教育の充実」についてはいかがでしょうか。よろしいですか。

2—(4) 「学校外における学びの機会の充実」の部分、14、15ページですが、お願いいたします。

(星野委員)

4点お願いします。

1点目は、15ページの令和3年度における評価の下段の3行目、問題集のところですけども、「一方でジャンプアップ教室用に準備した問題集についての難易度」はちょっとニュアンスがおかしいと思いますので、「問題集の」でよいと思いました。

2点目はその下ですけども、「このことから令和4年度は新たに問題集の改選をする」とあって、改選というのは後で考えたら選挙のような感じがしたので、事務局の最初の提案のように、「このことから令和4年度は新たに問題集を選定することとした」でよいと思いました。

3点目はその下の行です。「9割を超える受講生が学習満足度や学習意欲の向上を実感

しており」とありますが、学習満足度を実感するというよりも、「学習への満足」というふうにしたほうが分かりやすいと思いました。

4点目は、さんじょう学びのマルシェのところですが、4行目のところに「教員OBや市民・学生ボランティアとする」とあって、ボランティアという言葉だと無償だという受け止めがあるのではないかと思います。ちょっと検討してほしいです。

(星教育センター長)

1点目、2点目、3点目について、それぞれ「問題集の難易度」、「問題集を選定することとした」、「学習への満足や」という表現に修正したいと思います。

最後の4点目につきまして、確かに「市民・学生ボランティアとする」と書いてございますが、市の協力金をお渡しはしています。もともと子供たちが学びをしているところに指導に入りたい意欲がある方たちを公募しているという意味合でボランティアという表現をしているんですが、適当かどうか考えたいと思います。

(雲尾委員長)

2- (4) はよろしいでしょうか。

---

・子育て支援課の所管分について、平岡子育て支援課長が説明

(雲尾委員長)

3- (1) 「幼児教育内容の充実」につきまして、16から18ページにかけての部分はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

3- (2) 「幼保小連携の推進」の部分、18から20ページにかけての部分はいかがでしょうか。

(星野委員)

2点お願いいたします。

19ページの令和3年度における評価のところ、②の文末の昨年に比べて実施率が上がっているというところなんですが、先ほどの雲尾委員長のお話のように、具体的にどれほど上がっているかが明記されているとよいと思います。実施率ですので、パーセントになるか分かりませんが、何.何倍とか、何%とかの数値があるとよいと思います。ただ、これは第一指標の目標値の数値のことではないと思うので、その辺はちょっとまた何か計算しなければならないかもしれませんが。

2点目は、③の「接続期における」の後ですけれども、「子どもの育ちや」からその下の「安心わくわく」までのところは基本方針とダブるので、カットしてよいと思います。

(平岡子育て支援課長)

19ページの中ほどの②の「実施率が上がっている」という記載に対して、実施率を具体

的に出したらどうかという御意見ですが、数字を確認しまして、書き加えたいと考えております。

③につきましては、記載が重複するということであれば、すっきりさせたいと考えております。

(雲尾委員長)

3—(2) はほかによろしいでしょうか。ありがとうございました。

3—(3) 「家庭への支援の充実」、20 から 22 ページまでの部分ですが、これについていかがでしょう。

(星野委員)

2点お願いいたします。

1点目は21 ページですが、①の中ほどの「また」のところで、「NP」の前までも※14の付記でも述べられているので、なくてもよいのかなと思います。

2点目は21 ページの下段の4行、これは22 ページの二重丸のところにも同じような内容が出ていると思いますので、21 ページのほうをカットしてよいと思いました。

(平岡子育て支援課長)

21 ページの中ほどの「NP」の前までの部分につきましては、整理したいと思っております。

21 ページの下4行につきましても、次のページの二重丸になんでも相談の記載がございますので、こちらを割愛したいと思います。

(雲尾委員長)

21 ページ中段の「NP」の後に「(Nobody's Perfect「完璧な親なんていない」) 講座」と入っていますが、主な事務事業でNPは説明されています。評価の①の文章では「NP講座」と書いていいので、括弧の中の説明は取ってください。

それから、シートのほうだと主な構成事務事業の中に子育て支援センター8か所及び2か所の子育て拠点施設という言葉が入っています。こちらでは指標と構成事務事業がないので、②の1段落目で大崎に子育て支援センターができたと書いてあって、その次の段落で子育て支援センターの利用者数は減ったと記述すると、できたのに減ったというのがよく分からなくなる。ここで「子育て支援センター8か所の令和3年度の利用者数は前年比」といったような形で書くとシートが別でも分かると思いますので、検討してください。

3—(3) はよろしいですか。

---

・教育総務課の所管分について、野水教育総務課長が説明

(雲尾委員長)

4—(1) 「豊かな教育活動を支える環境の整備」につきましていかがでしょうか。

(星野委員)

22 ページの施策の基本方針のところの2行目、「子どもたち」というところを、23 ページの「児童生徒」というふうになっているので、合わせたらどうかと思います。

(雲尾委員長)

教職員用のトイレもきれいになるんですね。

(野水教育総務課長)

はい。体育館のトイレとかも含みます。

(雲尾委員長)

学校開放に向けての事業ですね。

(野水教育総務課長)

はい。

(雲尾委員長)

4—(1) はよろしいでしょうか。

報告書 24 ページ以降ですが、こちらについては何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(星野委員)

表紙裏で目次について、評価の欄の令和元年度のところの大きな1の項目だけがA、B、Cの評価がゴシック体になっています。意図があるのでしょうか。

(野水教育総務課長)

特に意図はございません。基本的には直近の評価年度を太文字にしたものです。

---

### 3 その他

- ・今後の流れについて野水教育総務課長が説明

---

### 4 閉会宣言 午後3時10分